

## 平成 31 (令和元) 年度 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

### 1 施設整備事業

- 前年度の台風による屋上柵のは損・階段塗装剥がれについて溶接・塗装工事を行いました。(あいおい損保保険金給付を利用)
- 太陽の子保育園の第 3 期改修工事として園庭トイレ設置工事、テラス改修工事を行いました。
- けま太陽の子保育園乳児棟の内部改修工事を行いました。
- さんば支援センターの瓦屋根改修工事を行いました。(長谷川福祉会助成金)

### 2 寄附金

杉の子友の会より	1,000,000 円
太陽の子友の会より	1,000,000 円
けま友の会より	1,000,000 円
さんば友の会より	500,000 円
父母の会より	100,000 円

### 3 会議

理事会	5 回 (内、決議の省略 2 回)
評議員会	1 回
監事会	1 回

### 4 その他

機関誌「ふたば」を 6 月、12 月 年 2 回発行しました。  
50 周年記念誌「さらに、明日へ」発行 (600 部)

2019年度 杉の子保育園事業報告

園児在籍数

年齢/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才児	6	6	6	7	7	7	6	8	8	8	8	8
1才児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2才児	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3才児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
4才児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5才児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	77	77	77	79	79	79	78	80	80	80	80	80

職員体制

【正規職員】 施設長1名 主任1名

保育士 12名 (雑賀/2020年4月～9月30日まで育児休暇)  
 栄養士 1名(中畑/2019年4月～2020年3月31日まで育児休暇) 調理師1名

【準正規】 保育士 1名

【パート】 保育士/ 6h:1名 5h:1名 3.5h:1名 4h:1名 派遣パート4h:1名  
 調理補助/ 5h:1名 用務/3h:2名(朝、夕) 延長保育4h:1名 3.5h:1名 事務:5h:1名

2. 開園時間

月～金 午前 7:00～午後19:00 (保育標準時間:7:00～18:00 保育短時間:8:30～16:30)  
 土曜日 午前7:00～午後18:00

休日保育:午前8:30～17:30

3. 事業計画重要課題

- ☆ 保育の歴史を学び、法人理念・方針を中心にした討議を重ねていきます。
- ☆ 保護者や子どもたちにきめ細やかな対応とあたたかい保育園作りをめざしています。
- ☆ 地域に向けて子育てニーズをしっかりとつかみ社会的資源としての役割を果たしていく
- ☆ 子どもの最善の利益を保障するため、国や自治体への運動を深めていきます。
- ☆ 「兵庫の保育を考える集会」尼崎市開催の成功に尽力していきます。

## 【保育実践】

- ① 「考える集会」や「合研」など保育実践を積極的に提案し、様々な意見をもらいながら討議を重ねて、そこで見えてきた課題を各クラスの保育に重ねながら進むことができました
- ② IPPOの学習会にて、障害児保育を提案。日々の迷いや課題を出すことで保育関係者に留まらず様々な分野の方の意見をいただくことで新たな発見や課題を見いだせることができ保育を深めていくことができました。
- ③ 運動会の取組みを子どもの姿から「ゴール」は誰が決めるのかなどで議論となり大人の思いが先行していたことに再度、気づきこれまでの取組みを反省する機会となった。
- ④ 年長クラスのとirikumiを「アイヌの民話」に取り組むことで多文化を知るきっかけとなり保護者も含めて文化を学んでいく時間を持つことができました。
- ⑤ 台風、新型コロナなど災害でこれまでの当たり前におこなってきた園生活や行事の在り方など変更、検討することとなり、いろんなことを縮小することに大事にしないことは何かなど一から全職員や保護者会などで繰り返し話し合うことができました。

## 【子育て支援】

- ① 年長クラスは個人懇談を例年に続き行いました。就学に向けて言葉や文字への興味、集団への姿勢など保護者との共通認識を一致させていきました。
- ② 「ちいさいなかま」の交流会を年3回持ちました。夕食を一緒に食べながら平和について交流したり平和への願いを保護者とともに共有し確かめる機会も設けることができました。
- ③ 関係機関と連携を図りながら地域相談を経て一時保育、入所へとつなげていきました。

## 4. 健康 保健

毎月	身体測定
5月	小児科検診
6月	眼科検診 耳鼻科検診 歯科検診 歯科指導
7月	胃腸炎 発達相談(2名)
8月	指詰め 発達相談(1名)
9月	溶連菌感染症
10月	カウプ指数
11月	小児科健診
12月	胃腸炎 発達相談(1名)
1月	溶連菌感染症
2月	インフルエンザ 舌を裂傷
3月	溶連菌感染症 足裏を怪我

## 5. 衛生・管理

7月 ゴキブリ駆除(本園、分園、分室)

## 6. 特別保育事業

一時保育延べ人数(休日保育を含む)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1, 2	2	4	20	10	5	9	8	6	5	3	6	8	86
3, 4, 5	12	16	12	16	11	18	11	10	13	8	12	8	147
合計	14	20	32	26	16	27	19	16	18	11	18	16	233

今年は天皇即位関連での休日が5月にあり、子どもの利用予定の変動が大きく職員の増減体制をつくるのに苦労しました。

延長保育延べ人数

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	7	16	24	20	19	26	23	27	38	33	34	267
1, 2	89	64	71	82	51	74	95	79	74	70	60	75	884
3, 4, 5	200	185	223	191	169	208	196	176	217	196	177	178	2,316
合計	289	256	310	297	240	301	317	278	318	304	270	287	3,467

JRの遅延が頻繁にありそのたびに延長保育の家庭が増えています。遠方へ出勤する人も多くなり通勤時間がながく平均1時間以上のご家庭の影響もありました。

## 7. 障害児保育

保護者からの要求を受け古川先生の発達相談につないでいきました。相談後の対応についても保護者、担任を交えて適宜懇談会を行ってきました。理解の共有を図っています。

児童がかかわりがある療育施設との連携・意見交換なども頻繁に行っていました。園全体ではクラス会、フロア一会議等で行い全体のものにしていく努力を行っています。

## 8. 地域の子育て支援事業

### あそぼう会

毎週月曜日の午前中を中心に行ってきましたが参加者は減少傾向に乳児の利用を増やすことがなかなかできませんでした。発信不足と園内開催が主となっていたのでハードルが高かったのではないかと考えられる。利用しやすい時間や発信の仕方など研究が今後必要となる。

## 9. 実習生 ボランティアの受入れ

5月ー 頌栄短期大学 2年生(1名) 関西国際大学 2年生(2名)  
 8月ー 関西保育専門学校 2年生(1名) 京都女子大学2年生(4名)  
 9月ー トライやる 小田中 2年生(3名)

12月 以後、コロナ感染予防のため受け入れなし

## 10. 避難訓練 健康教育 食育

- ① 法人内の防災委員を軸にしながら避難訓練を実施、地域との避難訓練を計画し杉の子、尼崎たんぼぼ 常光寺幼稚園との共同訓練を実施しました。

消防訓練では分園の上階に住んでいる住人と共に避難・消火訓練を行いました。

- ② 健康な体づくりに関しては毎月食育活動として給食室と保育士と一緒に子どもたちに手遊びや、ペープサートなどで発信をしてきました。

- ③ 職員が研修で学んできたことを会議の場で共有し、学習を行ってきました。  
救命救急 乳幼児の事故防止等

## 11. 会議

乳児、幼児、主任、園長と責任者会議をもち、各クラスの会議としての流れを定着  
 その中で、クラスによっては事務時間の保障が十分でないことがなどが議題となり、  
 どの職員にも均等に事務時間を保証していくにはどうしたらよいかなどを繰り返し話し合い  
 様々な形で取り組んでいきました。

仕事の速度、内容の個人差、ベテラン、若手の差など いろいろな角度から検討し  
 クラス会の曜日や時間の固定化とその上で声をかけあう、気に掛け合う、ことを確認しました。  
 出来るだけ就業時間内で事務作業ができるよう努力を重ねています。

職員会議の際に会議録ではなくホワイトボードを活用して今、議論されているポイントなど  
 常に共有し、それぞれが違うとらえ方にならないように工夫をしました。

## 12. 研修

### 園内研修

メンタルヘルス	長谷川 大城 吉崎 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田
福島原発事故	長谷川 大城 吉崎 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田
憲法と子ども未来	大城 吉崎 佐野 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田
福祉現場で働く者	長谷川 大城 吉崎 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田

### 園外研修

保育セミナー	長谷川 大城 吉崎 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田 船間				
考える集会	長谷川 大城 吉崎 中川 阿部 河田 源島 谷垣 阪口 津田 船間 門田 中畑 石澤 大嶺 萩原				
合同保育研究集会	長谷川 大城 佐野 中川 谷垣				
法人園会研修 乳児	津田	法人宴会研修 全体	長谷川 佐野 吉崎 津田 阪口 大城 源島	オールあまっこ 研修	谷垣 吉崎 長谷川 阪口
合研プレ集会	阪口 吉崎 長谷川 河田	食の シンポジウム	阿部		

## 2019 (H31・R1) 年度太陽の子保育園事業報告

### 1、園児在籍数

年齢月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	103
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	12	146
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
合計	74	74	74	74	74	75	75	75	76	76	75	75	897

### 2、職員体制

園長	主任	栄養士	正規保育士	常勤的非常勤
1	1	2(1名5月末より産休・育休)	9(1名10月より産休・育休)	2

パート7h	パート4h	補助7h	補助4h	給食室7h	給食室5h	事務4h	朝3h	延長対応
2	1	1(2月まで)	1	1	1	1	1	2

派遣4h1名

### 3、開園時間

午前7時～午後19時 延長保育18時～19時

保育標準時間7時～午後18時。短時間8:30～16:30

### 4、事業計画重要課題

- 0歳児クラスの新入園児は、入園式後2日間親子で登園してもらい、保護者に保育園の雰囲気を知ってもらう事をしたり、家庭訪問をすることで、早い時期に関係づくりを強める事が出来良かった。  
2歳児クラス以上は、個人懇談を行い一人ひとりの事を話してできる機会があり良かった。
- 園庭のトイレ設置工事を実施しました。
- 夏の終わりに隣家から、音に対しての苦情が入り、園庭での過ごし方を少人数のクラスが使う事や保育士・子どもたちの話し方や遊び方など工夫をしましたが、根本的なところで防音壁の設置工事をしました。

### 5、保育実践

- 各クラスで年カリを立てそれに基づいて月案・週案を立てています。  
クラス会議を定期的開催し計画、実践しています。
- 幼児クラスでは、3クラスを4グループにしての縦割り保育を実施してきました。リズムあそび時もグループごとに座るなど日常的なグループ活動の取り組みをしてきました。成長を祝う会でも縦割りで遊びを披露しました。
- 年長は海合宿で杉の子・食満と交流。後半期もけまとは交流しました。

オールあまっこの取り組みは、丸橋公園でのうんどうかいを開催し公立保育所（園田）と園田地区の私立園との交流ができました。また、愛児園さんからの誘いの移動動物園に5月と10月訪問させてもらっています。

- ・小学校とは、園田南小に地震避難の取り組みに参加、園田小学校の作品展の見学に行きました。
- ・わらべ歌は、稲上先生に指導いただき新しい遊びも取り入れていきました。
- ・運動遊びについては、福岡先生に、指導してもらうことで、子どもたちのやる気度UPにつながるとともに、縄跳びの取り入れ方の学習ができました。
- ・ワークショップの取り組みは、5歳児4回・4歳児3回そして取り組みました。ワークショップの総括から日常の保育の中での絵画制作活動の在り方をみんなで学習していく事にもつながりました。
- ・3月は新型コロナウイルス感染症感染拡大を予防するため、「卒園と成長を祝う会」予定日3月7日には、卒園式だけを卒園児とその保護者・職員のみで実施しました。全園児は、3月12日に保護者不参加で実施しDVDに収めました。クラスの取り組みについては、3月末に乳児はクラス懇談会で、幼児は、1日上映時間を決めDVDを見てもらいました。

## 6、子育て支援

- ・「ちいさいなかま」は、子育てふれあい部で交流会を計画し和気あいあいと交流されています。
- ・保護者会の役員会の際保育をしています。（月1回6：15～7：30）また、父母の会・保育園・太陽の子会の責任者が集まり3者協議会を毎月1回実施し交流してきました。
- ・バザーは、年2回～1回へ・太陽の子まつりの実行委員会を職員と保護者で実施。

## 7、健康・保健

毎月：身体測定。

	健診など	発症した感染症
4月		溶連菌感染症。マイコプラズマ。胃腸炎
5月	小児科健診。	手足口病
6	眼科健診。耳鼻科健診。 歯科健診。発達巡回相談	下痢。嘔吐。手足口病
7		手足口病。突発疹
8		R S。嘔吐・下痢、
9		嘔吐・下痢（多数）
10	発達巡回相談	嘔吐、胃腸炎。手足口病。溶連菌感染症
11	小児科健診	手足口病
12		水痘。R S。手足口病。溶連菌感染症。下痢
1		インフルA
2	発達巡回相談	溶連菌。インフルA。B。
3		溶連菌。インフルB。手足口病

## 8、衛生・管理

園庭周辺一ぐるっぺ（週2回）6月：ムカデ駆除。屋上と周辺腐葉処理。8月：ゴキブリ駆除

## 9、特別保育事業

### ・一時預かり（のべ人数）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児								1					1
1・2歳児								8	2		7	8	25
3歳以上													
合計								9	2		7	8	26

### ・延長保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用者	18	19	20	20	14	17	16	17	17	16	24	24	205
のべ利用者	97	80	87	99	83	107	98	101	109	91	109	109	1170

### ・障害児保育

- ・古川先生の発達巡回相談を年3回実施してもらい診断を受け対応の仕方を指導いただいています。
- ・子どもの姿については職員会議で報告。共通認識を持ちました。

### ・グランドパママ

年間の日程を4月にお知らせしたので、予定が立て易いになったことで、たくさん参加していただいています。

月	日	内容	参加人数
6	11	わらべうたと大道芸鑑賞。	38人
12	10	各クラスの出し物とけん玉鑑賞	34人
2	5	もちつき	18人

3月の「大きくなったねの会」は、新型コロナウイルス感染予防の為中止しました。

## 10、地域子ども・子育て支援事業

### ・お出かけあそぼう会

夕方どろ団子づくりをしました。予定日が雨になったりで1回しかできませんでした。

### ・あそぼう会

あそぼう会は、多目的ホールで実施するようになり、口コミで参加者が増えています。会場が広く活動範囲が広いハイハイ時期の子は、木曜日。動き回る子ども達は月曜日とわけて参加してもらっています。

食べ事も人気で、お母さんたちも良くお手伝いをしてくださいます。餅つきが人気だったので次年度は、あそぼう会単独での実施もして行きます。

保育園見学者も多く、できるだけあそぼう会開催の日に見学日を重ね あそぼう会への参加も呼び掛けています。その日から参加される方もおられました。

### 11、実習生・ボランティアの受け入れ

- ・実習は、5月—頌栄1名。6月—大阪人間科学大学1名。11月—園田学園2名。
- ・トライやるは、11月—園田中学。小園中学。の受け入れをしました。



・有償ボランティアは、あそぼう会木曜日に月末1回。元公立保育園の先生が来てくださっています。

## 12、避難訓練・健康教育

防災・安全・健康委員会が計画的に年間計画に沿って実施しています。普通救命講習の技能の維持のため2年から3年間隔で講習を受けることになっており、計画的に講習参加や集団での受講会を実行してきました。6月の歯科健診時に衛生士さんに歯を大事にすること。歯磨きの大事さなど子どもたちに話をさせていただきました。

## 13、会議

職員会議は、前半は、平日の13時30分～3時すぎまでで実施。していましたが、時間が短く14時～15時を2日間続けてするように変更しました。

会議資料は、前日提出がほぼ実施されるようになり、事前に資料を読んで会議参加することで、クラスの様子は、認知されやすくなってきています。非常勤職員が保育に回ることが多いので共通の場で意志統一できないので常勤職員が伝えるようにしてきましたが、後日、伝える機会も設けてきました。リーダー会議は、職員会議では、論議できなかった内容や緊急の意思統一の際実施しました。クラス会議は、定例され進められてきています。午前勤務の職員との打ち合わせも大事にし12時から開催しています。10分会議というように短時間で意志統一する工夫も試みましたがなかなか継続できていません。

## ・3園専門委員会

法人内3園・1事業所の交流をする場として「防災安全・健康」「給食」「実践交流」「子育て支援」「プロジェクト」の委員会を設けて取り組みを進めてきました。

## 14、研修

### 5園研修

月	日	内容	講師	参加人数
6	6	メンタルヘルス	大槻久美子氏	10人
7	11	今だからこそ憲法を学ぼう	石川康宏氏	11人
9	3	保育園職員から法人職員へ	茨木範宏氏	11人
11	25	原発事故は、私たちにとって何であったのか	菅野みずえ氏	10人

・法人園会研修（一部キャリアアップとして対応されているのも有り）小阪は、研修委員として参加）

月	日	内容	講師	参加
6	4	食育について	小西律子氏	中西
6	14	子育て支援「虐待防止について」	立花直樹氏	砂川
6	26	幼児教育	大和晴行氏	古本・上杉
7	5	運営について「職員の定着」	吉田幸宏氏	小阪
9	11	乳児保育	大和晴行氏	

11	12	障害を持つ子の保育	木下孝司氏	安藤
11	8	これからの乳幼児時期の保育	矢藤誠二郎氏	加山・窪・阿部・古本・上杉・砂川・中山

- ・キャリアアップ研修—尼崎市が実施した研修を加山・窪が受講。時間保障しました。
- ・保育セミナー（4～5月）14人参加
- ・兵庫の保育を考える集会（4月21日）20人参加 ・（7月7日）8人参加
- ・全国合研（名古屋）5名参加

#### 15、 その他

心の元気をサポートしてもらう機会としてカウンセリングルームBig Smileのカウンセラーによるカウンセリングを月1回（1回3人）受けてきました。また、健康チェックを年2回行いました。

（ 文責 小阪美恵子 ）

## 2019年度 けま太陽の子保育園事業報告

### 園児在籍数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育
4月	7	8	12	12	14	12	65	2
5月	7	8	12	12	13	12	64	2
6月	7	9	12	12	14	12	66	1
7月	7	9	12	12	14	12	66	1
8月	7	9	12	12	14	12	66	0
9月	8	9	12	12	14	12	67	0
10月	8	9	12	12	14	12	67	0
11月	7	10	12	12	13	12	66	0
12月	7	10	12	12	13	12	66	0
1月	7	10	12	12	13	12	66	0
2月	7	10	12	12	13	12	66	0
3月	7	10	12	12	13	12	66	0
合計	86	111	144	144	162	144	791	6

### 【職員体制】

(正規職員)            施設長 1名、        主任 1名  
                              保育士 7名        (1名、育休中)  
                              栄養士 2名

(常勤的非常勤職員)    保育士 3名

(パート)            保育士    7h 1名、    4.5h 1名    4h 1名        延長保育 4h 1名  
                              保育補助 早朝5h 1名    3h 1名    7h 1名 (週2回)  
                              調理補助 4h 1名

### 【開園時間】

午前7～午後7時            (午後6時～7時 延長保育)

### 【保育実践】

・3園の実践交流委員会が中心となって、保護者に向けてのおたよりの検討や実践記録の交流を行いました。お便りは試行錯誤しつつも、読みやすいものに改善することができました。実践記録は職員の中のハードルを下げてもっと気持ちを楽にして書くことが課題だと感じます。

・設定保育以外の時間帯、特に朝夕の保育を、毎日記録を取ることで見直し、意識的に考えることがみんなのものになっていった。クラス間の連携の取り方も意思統一できた。しかし、今年度だけでなく、引き継いでいく必要がある。

### 【障害児保育】

年 3 回の巡回発達相談に古川先生に来て頂き、発達面で気になる子どもの様子をみてもらい、必要なら関係機関に繋げていきました。

担当保育士任せにせず、ケース会議を持ち、課題や支援を明らかにして共有するようにしました。

### 【職員研修】

\* 合同研修はひまわり、杉の子、太陽の子と実施し様々な分野から講師に来て頂いている。毎回、非常勤職員も含めて参加している。

研修内容	メンタルヘルス講座	憲法と子どもの未来	福祉現場で働くという事	東電福島原発事故避難のこと
参加人数	14	12	13	14

兵保連保育セミナー のべ24人参加

兵庫の保育を考える集会 20人参加

ブレ合研 8人

全国保育団体合同研究集会 4人参加

法人園会研修

研修の内容は、報告書の閲覧と、その時々に応じて職員会議で報告し、共有しています。

### 【会議】

#### \* 職員会議

毎月の職員会議は平日の13:30~15:00の時間に行っています。事前に主任に月案を提出することと、園長、主任、副主任での会議内容の検討が定着してきた。

その中で、問題提起をする役割を決めることや会議の流れの確認をするようになった。

・研修報告は、文書のみでなく職員会議を利用しての報告をいれた。それをきっかけにして各クラスでの週1回の10分間討議に取り組む。始めは慣れないので戸惑う様子もあったが、少しずつ言葉にすることで互いの思いが伝わり共通認識につながった。流されず続けていきたい。

### 【実習生受け入れ】

9/2~ 園田学園より2名

11/5~ 園田学園より2名

### 【トライやるウィーク受け入れ】

11/11~ 園田中学校より4名

・年長クラスは海合宿に向けて交流し、その後太陽の子とは近いので公園で交流できました。また、3～4歳児クラスもお店屋さんごっこによんでもらい楽しんでできました。子どもも保育士にとっても良い刺激になりました。3月にも計画していましたが、コロナ騒ぎで中止となりました。

園田地域の公私立保育園が集ってのオールあまっこでは運動会を開催し交流しました。打ち合わせの保育士の会議では「もっと日常的な交流をしたい」と希望が出されていました。

- ・小学校との連携では、1年生の参観日の見学は職員のみ、図工展への見学は子ども達が行きました  
また、支援学級の先生との交流会に参加し就学児の姿を伝えています。
- ・ワークショップは、5歳児が4回、4歳児が4回取り組みました。ナビゲーターの進め方や子ども達への対応、毎回のまとめの会議での子どもとの伝え方など学ぶことが多いです。
- ・乳児棟の大規模改修工事が4月にあり、現場の声が実現されたのでこども達の導線が簡略化し、収納も増えたので使いやすくなりました。また、給食室を広げることができました。

#### 【子育て支援】

・年長クラスは、個人懇談を運動会後に実施し、ゆっくり保護者と向き合い話を聞く時間は貴重になっていると感じています。

クラス懇談会では、時折映像を使用してイメージしやすいようにし、私たちが何を大切にしているかを伝えるようにしています。

・地域保育は毎週火曜日実施していますが、参加者が減少してきたため今年度は、毎月小さなイベントを計画しブログ等で知らせていきました。また近隣の幼児クラブに担当が行って地域保育のお知らせをさせてもらい参加が広がったことは収穫でした。

「ここは静かでゆったりしているからいいですね」というお母さんの声もあるのでけまの長所と捉えて宣伝の工夫をしていきたいです。

#### 【特別保育事業】

\*一時預かり保育 のべ 6名の利用 問い合わせ自体が少なかったが、申し込みがあり準備をしても、キャンセルになったケースも何度かありました。

\*延長保育

利用人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0歳児	3	6	4	8	4	12	11	5	10	2	7	9
1・2歳児	26	31	29	33	28	26	29	30	29	34	23	13
3歳児以上	49	57	59	81	63	81	84	79	61	63	48	38
合計	78	94	92	122	95	119	124	114	100	99	78	60

【健康・安全】

	健診等	発症
4		ロタウイルス 胃腸炎
5	歯科健診 巡回発達相談	手足口病 扁桃炎 熱性けいれん
6	眼科健診 小児科健診 耳鼻科健診	扁桃炎
7		クループ 胃腸炎 アデノウイルス
8		水痘 手足口
9	巡回発達相談	溶連菌 ヘルパンギーナ
10	小児科健診	結膜炎 溶連菌
11		
12		インフルエンザ 結膜炎
1	巡回発達相談	インフルエンザ
2		水痘 溶連菌
3		インフルエンザ 溶連菌

【避難訓練】

月	内容	月	内容
4	火災・給食室より出火	10	地震・津波 園田小学校へ避難
5	火災・避難 通報訓練	11	火災 避難 不審者対応
6	地震 不審者対応	12	火災 避難
7	洪水・園田小学校へ避難	1	地震・津波
8	洪水・園田小学校へ避難	2	地震 職員の人数を減らして対応
9	火災・避難 幼児棟より出火	3	火災・消火訓練 消防署員より指導を受ける

健康安全教育

・防災・安全・健康委員会が中心となって計画を立てて実施しています。

「手洗いの大切さ」「歯磨き指導」「プールの安全」「不審者の対応」「交通安全教室」

大津市での園児の交通事故をきっかけに散歩コースの見直しをし、子ども達とも確認をしました。

## 2019年度 さんぽ支援センター 事業報告

2019年度は相談や新規申し込みが広がり、各事業においてより充実した支援の幅が広がった。一日でこなす支援の量が大きくなり、コーディネートも複雑化しているが、障害者と家族を支える事業の大切さが実感として得られ、さらに他事業所や行政とのかかわり、連携も広がった一年でした。

### 1 実施事業について

\*移動支援は 利用者が 23名となり 昨年から新規で2名ふえ解除6名で4名の減でした。契約時間は400時間、実績300時間超えをキープしていますが、年度末3月はコロナ問題で急速に実績が落ち込み、半減という状況です。さらに次年度にこの問題が持ち越されていくこととなります。

\*居宅支援は 4名40時間で変わりなしです。

長く支援を続けていくうちに信頼関係が深くなり、支援もスムーズになったケースもあり、その人の生活を維持するうえで誠実に対していくことが重要であることを知らせてくれました。引き続き、いろんなニーズにこたえていけるように間口を広くもって行きたいと思います。

\*日中一時支援は 日数8・9日でした。

誰でも利用しやすい制度です。居場所に、気分転換に、保護者の時間保証でと、さまざまな利用にこたえています。複数以上になったときは、音に敏感な利用者がいるときは2階も開放してできるだけ安心できる空間を保障しています。収入はとて低いため、常駐スタッフが対応せざるを得ない事業です。今後も単価引き上げの動きを作っていきたいと思います。

\*短期入所は 2019年度は設定日を大幅に増やして、利用しやすくしました。月4回から12回に増やしました。利用者もどんどん増えて昨年度11人が利用という状況でしたが、23名に倍増しました。これは利用者の希望の強い土日の実施を取り組めたことと、どの曜日でも2人以上で受け入れるという方針を打ち出したことによります。金曜が満杯になっても次の日休みという余裕で土曜利用が可能になったのはとてもよかったです。

尼崎市の短期入所事業のネットワークでは、連絡網の形成や交流が進んで、テーマに沿った学習意見交流会も取り組んでいます。「利用者確保のために」「スタッフの研修について」「感染防止対策について」など、事業に生かせるものもたくさんありました。

## 人材育成と研修

短期入所 移動支援 部門別のヘルパー会議を2回実施しました。

支援をしているの悩みや疑問を交流の中で解決してみんなで共有するという形式の学習会もしました。全体像がつかめたり、支援の工夫を聞いて良かったという感想が寄せられました。

学習は IPPO 主催の学習会などヘルパーが参加しやすいように支援を控えていただくというお願いもしてできるだけ参加増えました。学習の大切さを実感できた取り組みでした。

なかなか土日のとりくみや夜間の取り組みなのでヘルパー参加は難しいですが、社会的な視野も広げていただきたいとこれからも保育園 IPPO 全国団体の研修を知らせていきます。

## 3 保護者対応

\*個別支援計画にもとずいて 半年に1回の個別面談をしました。

後半の個別懇談は 新規利用の人を中心にしました。新たに信頼関係を結ぶ土台として 利用者の生い立ちから聞き、保護者の考え方の変化をできるだけ率直に話していただけるようにしました。そして、さんぽ支援センターに対しての要望を出し切れるように配慮しました。その中から申請している事業以外の利用の要望も聞いて支援につながることもありました。

## 4 運営の改善

さんぽ支援センター会議も月2回定例で実施してきたので、その都度ノ問題点に速やかに答えることができている。事務担当で1名採用しました。運営のさらなる合理化と整理がすすむようにしたいと思います。

急な変更やキャンセルの時の対応が、事務所が開いていない土日などにある場合に対応できるように事務所緊急携帯を持つようにしていますが、十分活用できていないとになっていません。保護者への徹底が必要です。

コーディネートが決まってからの変更対応もたくさんあり、その中での連絡ミスもあるので、まだまだ改善が必要です。重大なミスはなくなりましたが、確認方法の統一化(電話だけでなく FAX・メールなど残るものでの変更依頼)でなくなってきました。

\*資金作りを地域の方も借りて

友の会の資金作りも利用保護者の力を借りて進めています。昨年度からは地域にも宣伝して保育園卒園保護者や地域の協力者にも物品販売を依頼しています。中には待っていたとばかりにたくさん協力してくださる方々もあり、今までつないできた信頼の深さが分かり本当にうれしいです。

目標を達成できるよう地道に取り組む必要があります。



## 5 他事業所とのかかわり・運動のかかわり

\*他事業所とのかかわりは 支援のつなぎ方においてきめ細かくしています。保護者を通さなくてもダイレクトに連絡し合える関係ができてきました。事業所合同のモニタリングも一部の利用者では定期的に行っていますが、電話のみの所も多いです。それでも、つながることで支援の充実や広い視野での気づきもわかります。

\*運動とのかかわりは きょうされん・兵障協・全障研があります。

きょうされんの映画上映の取り組みを尼崎で実行委員会を立ち上げました。はじめて、きょうされん傘下外の事業所や団体ともかかわりあえて進められていますが、コロナ問題で全国的にストップになっています。ぜひ、成功させていきたいと思っています。

### 各事業の利用者数・実績

移動支援		居宅		日中一時	短期入所
利用者	男性 14	家事 2	通院 2	6	男性 17
	女性 9	身体 3	重度訪問 1		女性 6
実績時間数	260 時間	60 時間		8 日間	月 16 回のべ 80 日
ヘルパー	12 人	6 人		3	8

### 付則

2月ころから新型コロナウイルスによる影響で実績が極端に落ち込み、かなり深刻な状況になると予測されます。支援の細かな安全のためのマニュアルを作成し、情勢も絶えず鑑みながら、慎重に進めていきます。

そのため 乗り切っていくためには職員保護者が協力して必要な会議も招集して当たりたいと思います。

毎月	コーディネート会議 支援センターだより発行	さんぽ職員会議 利用者だより発行	避難訓練
月	全体	利用者	
4月	個別懇談 個別支援計画(後半)の説明 各種マニュアルの改正 虹の会お祝い会 考える集会参加	毎月 キッチン9 ツキイチアートの利用あり	
5月	個別懇談 ヘルパー会議 IPPO 総会 塚口うたう会参加		
6月	虹の会学習会参加 ケース検討会議 5園研修	塚口うたう会参加	
7月	消防設備点検	IPPO ワークショップ	
8月	ヘルパー会議・研修 合研参加 杉の子50周年記念誌完成	そうめん流し	
9月	職員研修旅行 虹の会学習会	塚口うたう会参加	
10月	さんぽフェスタ 3周年記念まつり(コープにて) 保護者・利用者も参加して開催		
11月	西そのだ親子まつり参加	塚口うたう会参加	
12月	和室開き戸工事		
1月	きょうされん署名 提出 きょうされん市交渉	お正月遊びの会 クッキング巻き寿司	
2月			
3月	消防設備点検		